

事業の実施内容及び成果に関する報告書

1 補助事業名

－平成26年度 こどもが幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業－
「障がい者アスリートによる学校訪問事業」

2 目的

こども達が、障がい者アスリートと直接対話をし、一緒にスポーツをすることで、自分を含めた誰もが社会の一員であることを認識する。そして、さまざまなことに挑戦することの素晴らしさを実感し、一人ひとりが生き生きと暮らせる次世代を展望し行動していくよう支援することを目的とする。

3 実施経過

(1) 事務手続き関係

平成26年 4月16日 内定通知受理 受理(26JKA公福第1号/ 4/1付)
5月 2日 補助金交付申請書提出
5月21日 補助金交付決定通知(26JKA公福第82号/平成26年5月19日受理)
5月23日 補助事業実施に関する誓約書・振込依頼届
6月 1日 補助事業開始
10月29日 補助事業の状況に関する中間報告書提出

(2) 事務実施状況

平成26年 6月 5日 大阪府教育委員会 後援及び実施について打合せ
6月14日 (1回目) 大阪府河内長野市立天野小学校
6月20日 (2回目) 大阪府吹田市立片山中学校
6月28日 (3回目) 大阪府大阪市立西淀中学校
7月 2日 (4回目) 大阪府貝塚市立第一中学校
7月 8日 (5回目) 大阪府貝塚市立第二中学校
8月 9日 (6回目) 京都府京都市立上賀茂小学校
9月16日 (7回目) 島根県益田市立小野中学校
9月17日 (8回目) 島根県大田市仁摩小学校
9月22日 (9回目) 福島県二本松市立二本松南小学校
9月27日 (10回目) 長崎県新上五島町立魚目中学校
9月30日 (11回目) 大阪府東大阪市立孔舎衛東小学校
10月 9日 (12回目) 埼玉県八潮市立八潮中学校
10月10日 (13回目) 長野県立赤穂高等学校
10月17日 (14回目) 東京都足立区立千寿本町小学校
10月20日 (15回目) 大阪府立北千里高等学校
11月 8日 (16回目) 大阪府泉南市立西信達中学校
11月18日 (17回目) 千葉県鎌ヶ谷市立中部小学校
11月28日 (18回目) 福島県本宮市立五百川小学校
12月 2日 (19回目) 千葉県浦安市立見明川小学校
12月11日 (20回目) 大阪府羽曳野市立丹比小学校

平成27年 1月16日(21回目) 大阪府和泉市立北池田小学校
 1月22日(22回目) 千葉県柏市立柏第四小学校
 1月23日(23回目) 東京都千代田区立麴町小学校
 1月27日(24回目) 島根県松江市立大庭小学校
 2月12日(25回目) 埼玉県川口市立南芝小学校
 3月 末日 障がい者アスリートによる学校訪問事業報告書 配布

4 実施内容

障がい者アスリートによる学校訪問事業

実施内容は、以下のとおり実施要綱と当日の流れ・講師プロフィール等を事前に開催校へ送付

開催要綱 (案)	
目的	障がい者アスリートが講師となり、『1チャレンジ精神、2努力、3協力、4工夫、5人間の持つ可能性の大きさ』を子ども達に体感させることで、子ども達が夢と希望を持ち協調と共栄、競争で多様化する社会を生きる力を付けることの支援を目的とします。
日時	平成 年 月 日 () 午前 1,2時間目または2,3時間目 午後 5,6時間目
場所	各学校の体育館
対象	1学年または100名程度
講師	司会 1名(関西または関東より) 講師 2名(関西または各地で選抜) 事務局 1名(千葉より)
応募方法	事務局へファックス・メールでお申し込みください。
費用負担	30,000円(1校につき)
主催	NPO法人 パラリンピックキャラバン
共催	公益財団法人 JKA
問合せ先	NPO法人 パラリンピックキャラバン 277-0082 柏市緑ヶ丘8-1-102 Tel 04-7169-6423 Fax 04-7169-0969
※この事業は、公益財団法人 JKA の補助金の交付を受けて行うものです。	
当日の流れ (例)	
(学校の授業の開始時間に合わせます。)	
09:00	講師・スタッフ会場集合
09:40	児童・生徒 体育館に集合
09:45	授業開始 趣旨説明 講師紹介 競技説明 車椅子説明 デモンストレーション 子ども達の体験 小グループでの質疑応答(クラスごと) まとめの話
11:40	児童・生徒撤収
11:45	講師・スタッフ出発
午後も同様の時間配分で行います。	

5 実施状況表

事業予定	上半期						下半期						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
障がい者アスリートによる学校訪問事業 8回実施													
関西 11カ所													3回実施
東北 3カ所													1回実施
九州・沖縄 1カ所													1回実施
その他地域 3カ所													1回実施
関東 7カ所													5回実施

(実績) ←→

6 講師プロフィール

諸隈 有一 (もろくま ゆういち) 1973年生 大阪府池田市在住]パラキャン専属講師・司会者
24歳のとき、仕事中の事故で左足を大腿から切断する。もともとスポーツが好きだったので、退院後、友人に誘われて豊中のクラブチームで車椅子バスケットボールを始める。日本車椅子バスケットボール選手権大会に出場。日本大学連盟車椅子バスケットボール選抜チームのヘッドコーチとしても活躍。B-spirits 所属。

永易 雄 (ながやす ゆう) 1986年生 大阪府河内長野市在住
中学3年生の時に、学校内のプールでの事故で頸椎損傷になり、運動神経に障がいが残る。2003年 車椅子バスケットボールのオーストラリア遠征中に現地のラグビープレイヤーに誘われて初めて車椅子ラグビーをプレイ。帰国後、クラブハウスチームに所属し日本選手権出場3位入賞。ウィルチェアラグビー(車椅子ラグビー)選手で、2008年に北京パラリンピックに日本代表として参加。現在も日本代表候補として強化指導チームに参加。

吉田 高志 (よしだ たかし) 1978年生 大阪府泉大津市在住
車いすマラソンの選手 大阪ランナーズ所属。仕事上の事故で車椅子生活になる。中学生の時から陸上競技をしていたので、車椅子での競技でも車椅子マラソンに興味を持ち車椅子マラソンを始める。現在はリオパラリンピックを目指し練習中。2006-2007 大分国際車いすマラソン…ハーフの部で2連覇。2010 仙台国際ハーフ5位。 2013 霞ヶ浦マラソン優勝。

吉川 弘一 (よしかわ こういち) 1966年生 大阪府堺市在住
23歳の時にオートバイの事故により脊髄損傷で下半身麻痺になる。入院中に車椅子業者の人に勧められて車椅子バスケットボールを始める。国体2回出場、全国大会4回出場 チームオロチに所属。現在は若手選手の育成に力を入れている。

網本 麻里 (あみもと まり) 1988年生 大阪府大阪市在住
カクテル所属 北京パラリンピック出場し得点王になる。
生まれつきの骨の病気で、右足つま先の骨内側に折れ曲がるように変形する障がいがあり。高校1年生で日本代表に選ばれるとチームの主力選手として活躍。2007年6月のドイツとの親善試合では世界記録となる1試合38得点を決めている。2008年にはチーム最年少の19歳で北京

パラリンピックの代表に選ばれ、チームは4位でメダル獲得はならなかったが、7試合133得点で大会の得点王に輝いた。

永江 一徳 (ながえ かずのり) 1988年生 長崎県大村市在住

二分脊椎により車椅子での生活となる。車椅子バスケットボールの持ち点は1.0。正確なフックパスには定評があり、若手有望選手として活躍を期待されている。

高野 逸生 (たかの いつお) 1975年生まれ 長崎県長崎市在住

脊椎損傷により車椅子での生活となる。車椅子バスケットボールの持ち点は3.5。佐世保車椅子バスケットボールチーム所属。2014年日本車椅子バスケットボール選手権大会出場選手。

近藤 俊樹 (こんどう としき) 1952年生 滋賀県信楽町在住

50歳の時パラグライダーの墜落事故で車椅子生活となる。現在、チェアスキーと車椅子バスケットボールに力を入れている。チェアスキーでは指導者資格取得を目指している。

西田 宗城 (にしだ ひろき) 1984年生 大阪府和泉市在住

車椅子陸上の選手。大阪ランナーズ所属。20歳の時、交通事故に遭い車椅子生活になる。2006年、車椅子陸上と出会い国際大会に出場できるようになる。2012年6月の日本選手権1500mでパラリンピックB標準突破。2012年9月の全国車椅子マラソンで初優勝し、パラリンピックの強化指定選手となる。2013年 世界選手権リヨン大会 日本代表。

杉山 雅哉 (すぎやま まさや) 島根県益田市在住

車いすバスケットボール選手 島根県の三光スーパーズ所属
学生選抜ではキャプテンとして活躍

山田 和彦 (やまだ かずひこ) 兵庫県神戸市在住

車いすバスケットボール選手 21歳の時交通事故で脊髄を損傷し車いすの生活となる。
車いすバスケットボール歴25年のベテラン。

高橋 剛志 (たかはし つよし) 福島県二本松市在住

福島県のTEAM EARTH所属
2010年に病気で左足を切断、リハビリの一環で車いすバスケットボールを始め現在も続けている。車いすバスケットボール以外に野球にも積極的に取り組んでいる。障がい者野球全日本選手権出場。

遠藤 泰 (えんどう やすし) 福島県本宮市在住

福島県のTEAM EARTH所属
仕事上の事故で脊髄を損傷、車いすの生活となる。
チームの若手有力選手。

内山 雄介 (うちやま ゆうすけ) 福島県本宮市在住

福島県のTEAM EARTH所属
仕事上の事故で脊髄を損傷し車いすの生活となる。友人に誘われたのをきっかけに車いすバスケットボールを始め、現在チームで活躍している。

村山 涼 (むらやま りょう) 福島県福島市在住

福島県のTEAM EARTH所属。2年前仕事上の事故で車いす生活になる。車いすバスケットボールを出会い目標を見つけ練習に励んでいる。

大本 将貴 (おおもと まさき) 埼玉県所沢市在住

埼玉ライオンズ所属
高校生の時に交通事故で片大腿切断、普段は義足を付けて生活している。リハビリで車いすバスケットボールを始め所属チームで活躍。現在、大学検定を取り大学入学をめざし勉強中。

浜田 和成 (はまだ かずなり) 大阪府箕面市在住

交通事故で車いすの生活になり、大学時代に始めた車いすバスケットボールは8年間続け、その後車いすマラソンに転向し活躍。現在は風船バレーボールの普及活動に努めている。

7 実施状況

【第1回】

実施日 6月20日(金)
実施場所 大阪府吹田市立片山中学校
所在地 吹田市竹谷町35-11
講師 諸隈有一、吉川弘一、近藤俊樹
参加者数 241人
FB評価 いいね=75 リーチ 351人



【第2回】

実施日 6月20日(金)
実施場所 大阪府吹田市立片山中学校
所在地 吹田市竹谷町35-11
講師 諸隈有一、吉川弘一、近藤俊樹
参加者数 261人
FB評価 いいね=75 リーチ 478人



【第3回】

実施日 6月28日(土)
実施場所 大阪府大阪市立西淀中学校
所在地 大阪市西淀川区姫島6-10-5
講師 永易雄、吉田高志、西田宗城
参加者数 206人
FB評価 いいね=不明 リーチ=不明



【第4回】

実施日 7月2日(水)
実施場所 大阪府貝塚市立貝塚第一中学校
所在地 貝塚市加神1-5-1
講師 諸隈有一、吉川弘一、網本真里
参加者数 337人
FB評価 いいね=84 リーチ=1499人



<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>

パラリンピックキャラバン

いいね! 49

中山 薫子 2014年6月16日 10:13 投稿
6月14日の学校での様子です。
いいね! を取り消す コメントする 11

中山 薫子 2014年3月7日 11:16 投稿
明日、3月8日、埼玉県草加市の草加スポーツ健康記念体育館にてイベントを開催します。車椅子に乗って、色々な遊びをしますので、種がいの有無...
もっと見る
いいね! を取り消す コメントする 7

いいね! 84

リーチ1,499人

投稿の広告を出す

いいね! を取り消す コメントする シェア 84 4

広告を作成

今週

11 ページのいいね

1,248 投稿のリーチ

未読

0 お知らせ

0 メッセージ

最近

2015年

2014年

2013年

2012年

2011年

設立

【第5回】

実施日 7月8日(火)
実施場所 大阪府貝塚市立貝塚第二中学校
所在地 貝塚市福田100
講師 諸隈有一、吉田高志、永易雄
参加者数 193人
FB評価 いいね=72 リーチ=872人



目標の数値までいいね！を獲得
500 いいね！
ページを宣伝

情報

〒589-0202 千葉県柏市緑ヶ丘8-1-102
TEL 04-7169-6423
FAX 04-7169-0969
<http://www.para-can.com/> 宣伝する

写真

リーチ872人 投稿の広告を出す

いいね！を取り消す コメントする シェア 72 72

パラリンピックキャラバン
諸隈 有一さんの投稿 2014年7月4日

埼玉県草加市で多くのスポーツ体験イベントが行います。
よろしくお祈りします！

【第6回】

実施日 8月9日(土)
実施場所 京都府京都市立上賀茂小学校
所在地 京都市北区上賀茂烏帽子ヶ垣内町1
講師 諸隈有一、吉田高志、吉川弘一
参加者数 86人
FB 評価 いいね=202 リーチ=2948人



<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>

パラリンピックキャラバン

〒千葉県柏市緑ヶ丘8-1-102
TEL 04-7169-6423
FAX 04-7169-0969
<http://www.para-can.com/> 宣伝する

写真

リーチ2,948人 投稿の広告を出す

いいね!を取り消す コメントする シェア 202 3

パラリンピックキャラバンさんは吉田 経里架さん、Mari Amimotoさんと一緒に
諸隈 有一さんの投稿 71 · 2014年8月3日

【第7回】

実施日 9月16日(火)
実施場所 島根県益田市立小野中学校
所在地 益田市戸田町イ 1332-1
講師 諸隈有一、吉田高志、杉山雅哉
参加者数 36人
FB評価 いいね=65 リーチ=600人



【第8回】

実施日 9月17日(水)
実施場所 島根県大田市立仁摩小学校
所在地 大田市仁摩町仁万176-2
講師 諸隈有一、吉田高志、杉山雅哉
参加者数 39人
FB評価 いいね=65 リーチ=600人



【第9回】

実施日 9月22日(月)
実施場所 福島県二本松市立二本松南小学校
所在地 二本松市亀谷2-123
講師 諸隈有一、網本真里、永易雄
参加者数 54人
FB評価 いいね=50 リーチ=492人



<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>

パラリンピックキャラバン

いいね! 475件

目標の数値までいいね!を獲得
500 いいね!

ページを宣伝

千葉県柏市緑ヶ丘8-1-102
TEL 04-7169-6423
FAX 04-7169-0969
<http://www.para-can.com/>

写真

いいね!を取り消す・コメントする・シェア

パラリンピックキャラバンさんは吉田高志さん、他2人と一緒に
中山 萌子さんの投稿 9月17日

【第10回】

実施日 9月27日(土)
実施場所 長崎県新上五島町立魚目中学校
所在地 長崎県南松浦郡新上五島町丸尾郷412
講師 諸隈有一、永江一徳、高野逸生
参加者数 78人
FB評価 いいね=38 リーチ=402人



【第11回】

実施日 9月30日(火)
実施場所 大阪府東大阪市立孔舎衛東小学校
所在地 東大阪市日下町7-1-7
講師 諸隈有一、吉川弘一、永易雄
参加者数 90人
FB評価 いいね=69 リーチ=688人

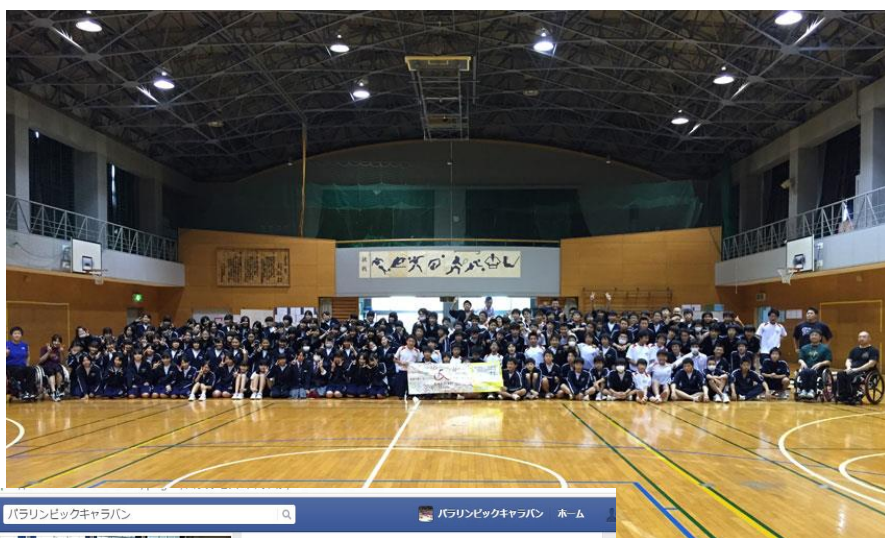


<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/515014402052070>

A screenshot of a Facebook page for the 'Paralympic Caravan'. The page header shows the name 'パラリンピックキャラバン' and a search bar. Below the header, there are several photos and a video thumbnail. A large photo shows a group of children and adults holding a banner in a gymnasium. The text on the page reads: '9月30日東大阪の小学校に行ってきました。講師のみなさんありがとうございました。皆いい顔して写ってます^o^たのしかったあ〜!!'. The page also shows 'いいね' (likes) and 'リーチ' (reach) statistics: 'いいね 69' and 'リーチ 688人'. There is a button that says '投稿の広告を出す' (Show ads for this post).

【第12回】

実施日 10月9日(木)
実施場所 埼玉県八潮市立八潮中学
所在地 八潮市中央1-1-2
講師 森田俊光、齋藤智之、大本将貴
参加者数 183人
FB評価 いいね=29 リーチ=257人



パラリンピックキャラバン

10月9日埼玉県八潮市内の中学校に行ってきました。流石に同じポーズばかりでは飽きるので、準備中を一枚 ^ 0 ^ 見えてないけど森田さんと大元さんもご一緒ですの〜 ^ 0 ^

中山 善子 2014年9月16日 10:13

6月14日の学校での様子です。

いいね! を取り消す コメントする 11

中山 善子 2014年9月7日 11:16

明日、3月8日、埼玉県草加市の草加スポーツ健康記念体育館にてイベントを開催します。車椅子に乗って、色々な遊びをしますので、障がいの有無... ちっと見る

リーチ257人

いいね! コメントする シェア 29

【第13回】

実施日 10月10日(金)
実施場所 長野県立赤穂高等学校
所在地 駒ヶ根市赤穂11041-4
講師 諸隈有一、高橋剛志、遠藤 泰
参加者数 50人
FB 評価 いいね47 リーチ=375人



キャラバン x

<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>

パラリンピックキャラバン

10月20日、大阪の麗高等学校に行ってきました。

いいね! を取り消す コメントする 49

いいね! を取り消す コメントする シェア 47

リーチ375人

投稿の広告を出す

【第14回】

実施日 10月17日(金)
実施場所 東京都足立区立千寿本町小学校
所在地 足立区千住3-30
講師 森田俊光、高橋剛志、遠藤 泰
参加者数 99人
FB評価 いいね=69 リーチ=800人



<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>

パラリンピックキャラバン

10月17日に足立区の小学校へ行ってきました。参加者の楽しそうな顔を大伸ばししてお見せできないのが本当に残念！！

いいね！を取り消す・コメントする 49

中山 薫子 2014年6月16日 10:13
6月14日の学校での様子です。
いいね！を取り消す・コメントする 11

中山 薫子 2014年3月7日 11:16
明日、3月8日、埼玉県草加市の豊加スポーツ健康記念体育館にてイベントを開催します。車椅子に乗って、色んな遊びをしたり、手芸のデモンストレーション

リーチ800人 投稿の広告を出す

いいね！を取り消す・コメントする・シェア 69

【第15回】

実施日 10月20日(月)
実施場所 大阪府立北千里高等学校
所在地 吹田市藤白台5-6-1
講師 諸隈有一、高橋剛志、遠藤 泰
参加者数 396人
FB評価 いいね=67 リーチ=1941人



【第16回】

実施日 11月8日(火)
実施場所 大阪府泉南市立西信達中学校
所在地 泉南市岡田3-24-1
講師 諸隈有一、森田俊光、浜田和成
参加者数 207人
FB評価 いいね=83 リーチ=978人



【第17回】

実施日 11月18日(火)
実施場所 千葉県鎌ヶ谷市立中部小学校
所在地 鎌ヶ谷市南初富1-16-1
講師 高橋剛志、遠藤 泰、内山雄介
参加者数 161人
FB評価 いいね=32 リーチ=371人

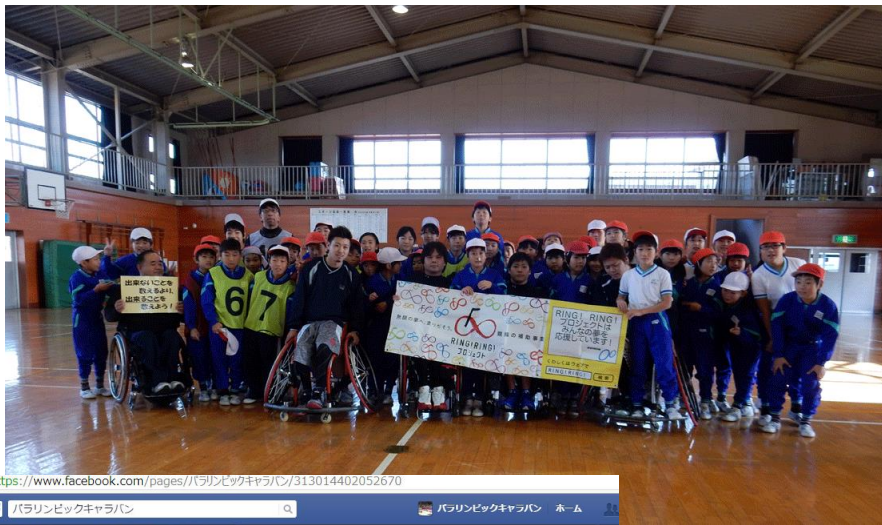


<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>



【第18回】

実施日 11月28日(金)
実施場所 福島県本宮市立五百川小学校
所在地 本宮市荒井字西畑1-1
講師 高橋剛志、遠藤 泰、村山 涼
参加者数 43人
FB 評価 いいね=49 リーチ=1092人



<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>

パラリンピックキャラバン

11月28日福島県本宮市の小学校に行ってきました。パラキャン講師のヤッシーとウッチーの母校でした^o^

中山 薫子
2014年6月18日 10:13
6月14日の学校の様子です。
いいね! 11

中山 薫子
2014年3月7日 11:16
※ 期日、3月8日、埼玉県蕨市の豊加スポーツ健康記念体育館にてイベントを開催します。車椅子に乗って、色々な遊びをしますので、種がいろいろあります。
いいね! 7

リーチ1,092人

【第19回】

実施日 12月2日(火)
実施場所 千葉県浦安市立見明川小学校
所在地 浦安市弁天3-1-2
講師 高橋剛志、遠藤 泰、村山 涼
参加者数 97人
FB 評価 いいね=52 リーチ=323人



【第20回】

実施日 12月11日(木)

実施場所 大阪府羽曳野市立丹比小学校

所在地 羽曳野市郡戸206

講師 諸隈有一、吉川弘一、永易 雄

参加者数 105人

FB評価 いいね=34 リーチ=492人



【第21回】

実施日 1月16日(金)
実施場所 大阪府和泉市立北池田中学校
所在地 和泉市いぶき野3-4-1
講師 諸隈有一、吉川弘一、永易 雄
参加者数 307人
FB評価 いいね=57 リーチ=351人



【第22回】

実施日 1月22日(木)
実施場所 千葉県柏市立柏第四小学校
所在地 柏市松ヶ崎1182-9
講師 諸隈有一、永易 雄、内山雄介
参加者数 137人
FB 評価 いいね=27 リーチ=303人



【第23回】

実施日 1月23日(金)
実施場所 東京都千代田区立麴町小学校
所在地 千代田区麴町2丁目8番地
講師 諸隈有一、永易 雄、内山雄介
参加者数 64人
FB評価 いいね=50 リーチ=604人



<https://www.facebook.com/pages/パラリンピックキャラバン/313014402052670>

パラリンピックキャラバン

1月23日都内の小学校に行ってきました。誰が何した？誰だ？

いいね！を取り消す · コメントする 49

ページへの投稿

中山 薫子 2014年2月16日 10:13 投稿
6月14日の学校での様子です。
いいね！を取り消す · コメントする 11

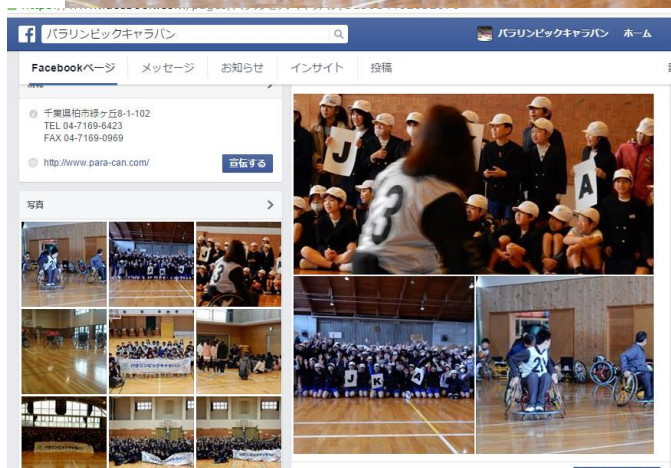
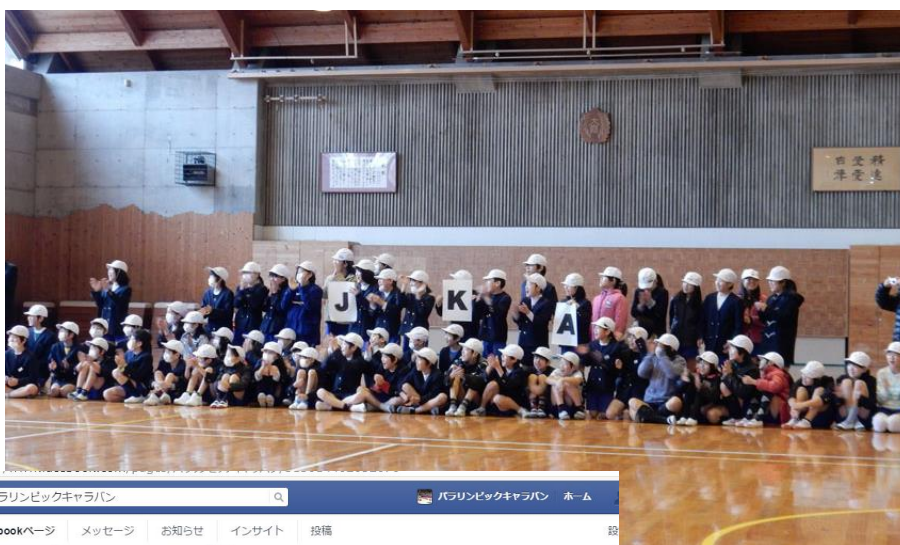
中山 薫子 2014年3月7日 11:16 投稿
明日、3月8日、埼玉県草加市の草加スポーツ健康記念体育館にてイベントを開催します。車椅子に乗って、色々な遊びをしますので、障がいの有無...
いいね！を取り消す · コメントする · シェア 50

パラリンピックキャラバン
中山 薫子さんの投稿 99 3月5日 12:03 投稿
いいね！を取り消す · コメントする · シェア 50

リーチ604人 投稿の広告を出す

【第24回】

実施日 1月27日(火)
実施場所 島根県松江市立大庭小学校
所在地 松江市大庭町1074
講師 諸隈有一、杉山雅哉、山田和彦
参加者数 77人
FB評価 いいね=37 リーチ=231人



【第25回】

実施日 2月12日(木)
実施場所 埼玉県川口市立芝南小学校
所在地 川口市芝3-17-1
講師 高橋剛志、遠藤 泰、村山 涼
参加者数 90人
FB評価 いいね=33 リーチ=321人



8 アンケート集計結果

平成26年度 障がい者スポーツ普及啓発事業 アンケート

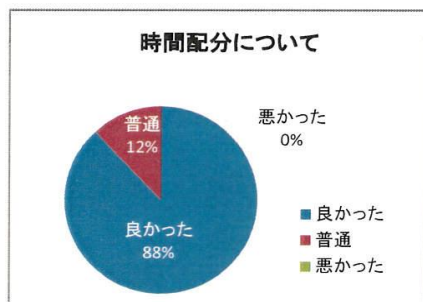
＜JKA競輪公益資金補助事業用＞

回答数	25校
-----	-----

＜体験講座について＞

1. 時間配分について

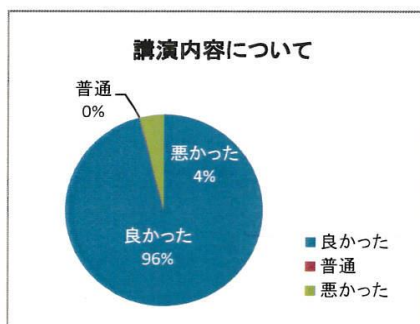
良かった	88%	普通	12%	悪かった	0%
------	-----	----	-----	------	----



- ・体験を通して活動する事時間が十分取れていた。
- ・学校側の都合で時間が多くとれない中、対応していただきありがとうございました。
- ・学校の都合に合わせていただき、大変助かった。
- ・試合や質疑応答の時間をしっかり取っていただけでとても良かったです。
- ・話を聞く、体験するなど交互に入りあきさせなかった。
- ・もう少し多くの生徒に体験させてあげたかった。

2. 講演内容について

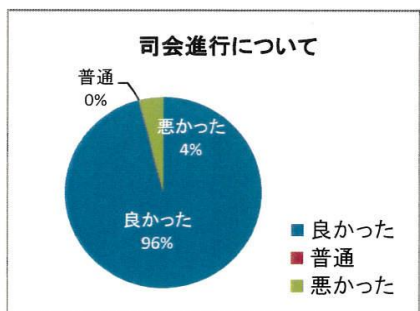
良かった	96%	普通	0%	悪かった	4%
------	-----	----	----	------	----



- ・生徒に何を伝えているのかよく分かったから。
- ・子どもたちにも分かりやすくパラリンピックキャラバンの意味を伝えてもらい、これからの生き方を前向きにとらえることが出来るものだった。
- ・子ども達にも分かりやすい言葉で説明していただけたので、しっかり理解することができました。言葉だけでなく、実際に見て学ぶことも多く、より自分の物にすることができました。(言葉での理解が苦手な子どもも多いので、有難かったです)
- ・選手のみで行う迫力あるプレーが見たかったです。
- ・生徒が夢中になり、よい体験ができました。
- ・生徒の感想文を読んでも多くの発見があったことがたくさん書かれていた。

3. 司会進行について

良かった	96%	普通	0%	悪かった	4%
------	-----	----	----	------	----



- ・講師の方が手慣れていて大変スムーズに進行できた
- ・ユーモアを交えながら、巧みな話術には感心させられました。
- ・わかりやすく、説明していただいた。
- ・スムーズだった。
- ・選手の方々が子どもたちの緊張をほぐして下さったのでとても良かったです。
- ・楽しくしていただいた。

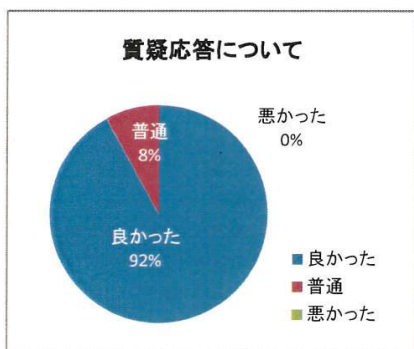
平成26年度 障がい者スポーツ普及啓発事業 アンケート

<JKA競輪公益資金補助事業用>

回答数	25校
-----	-----

4. 質疑応答について

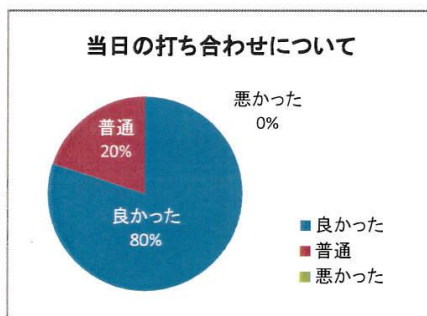
良かった	92%	普通	8%	悪かった	0%
------	-----	----	----	------	----



- ・クラスごとに分かれたのは良かったが少し長かった。
- ・子ども達の率直な質問にも丁寧に答えていただきみずからの体験を語って頂けて胸に響くものがあった
- ・パラリンピックの方のお話を実際に聞くことができ、子どもたちにとってとてもよかったです。
- ・五人の方、それぞれの話(グループ分けをした)もあり、とてもよかったです。車いすバスケット以外のラグビー・陸上の紹介もあって、よかったです。
- ・学年別に分かれて行ったが、難しい学年には、きちんと力のある講師がついて対応してくれた。
- ・もう少し事前に指導しておけばもっと活発にできたと思う。

5. 当日の打ち合わせについて

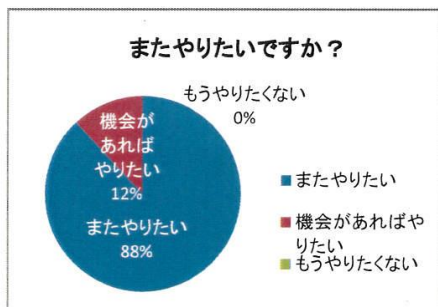
良かった	80%	普通	20%	悪かった	0%
------	-----	----	-----	------	----



- ・時間はあまりなかったものの、こちらの学習の流れをくんでお話ししてくれたから。
- ・適切な時間で行われていた。
- ・本校初めてのパラリンピックキャラバンだったので、丁寧に教えていただき助かりました。
- ・短い時間で簡潔にいただいた。

6. またやりたいですか？

またやりたい	88%	機会があればまたやりたい	12%	もうやりたくない	0%
--------	-----	--------------	-----	----------	----



- ・八年目の取り組みとなり、毎回子ども達に勇気をもらえるので、これからも続けていきたい
- ・今回触れたことで、多くの子がとても興味を持ちました。もっともっと楽しさを味わったり、理解を深めたりするために、ぜひまたやりたいです。
- ・生徒達にとって、とても勉強になりました。心に届いたようです。
- ・予算の面で隔年にはなってしまうと思いますが、パラリンピックキャラバンが根付くよう、こちらも教職員に働きかけたいです。
- ・定時制の生徒には、自らの環境について考えさせられ、とてもよい機会となった。
- ・障がい者に対する子ども達の意識が変わっていくのが分かった。また別のスポーツにも接してみたい。

平成26年度 障がい者スポーツ普及啓発事業 アンケート

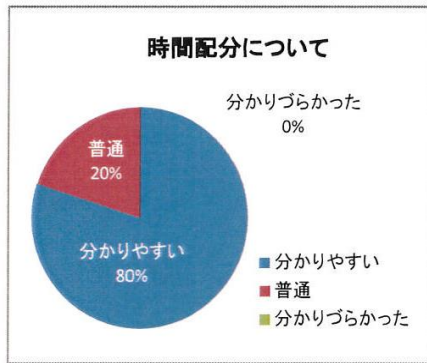
＜JKA競輪公益資金補助事業用＞

回答数	25校
-----	-----

＜事前準備・資料について＞

1. 送付資料の内容について

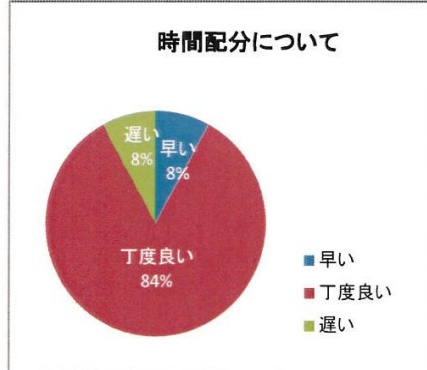
分かりやすかった	80%	普通	20%	悪かった	0%
----------	-----	----	-----	------	----



- ・資料を使って生徒に説明して興味をしめしていた。
- ・写真付きで様子がわかりやすい
- ・丁寧な資料ありがとうございました。もし可能なら、準備物も資料に載せて頂けると助かるなと感じました。
- ・事前・事後の指導として他校では、このような取り組みをしたという資料(指導案のような)があれば、もっといいと思います。

2. 送付時期について

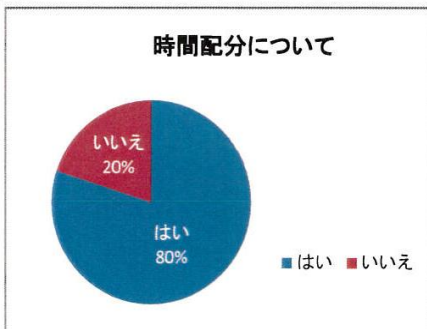
良かった	10%	普通	81%	悪かった	9%
------	-----	----	-----	------	----



- ・1週間ぐらいに送っていただけると良いかなと思いました。
- ・お願いした資料を次の日に送っていただけました。

3. 今回の事業にJKAの補助金が使われていたことはご存知でしたか？

はい	80%	いいえ	20%
----	-----	-----	-----



平成26年度 障がい者スポーツ普及啓発事業 アンケート

<JKA競輪公益資金補助事業用>

回答数

25校

今後の要望や感想、ご意見をお聞かせ下さい。

<p>2時間ありがとうございました。子ども達の車イスに乗っている人たちの印象が変わったように思います。また1年生にも分かりやすく講演いただきとても満足しました。</p>
<p>生徒の心をしっかりとらえ、障がい者やそのスポーツについて考える機会になった。今後もぜひ来ていただきたいと思う。</p>
<p>車椅子バスケットボールの試合予定等頂けるともっとふれあう機会が増えると思うので、用意して頂けたら嬉しいです。</p>
<p>これまでの学習を深めることのできる、とても良い体験をさせて頂きました。何より、講師の方々の前向きな姿勢から子どもたちはたくさんのパワーをいただきました。ぜひこの活動を多くの子どもたちにしてもらいたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>連絡をいただいて、期間がなかったため、十分な準備や対応等ができない状態で申し訳ございませんでした。</p>
<p>講師の先生方がとても話が上手で、2時間半があつという間に過ぎてしまいました。とてもいい経験になりました。いい汗をかいて、心の勉強ができました。団体も応援にいきたくと生徒が言っております。試合頑張ってください。応援しています。本当にありがとうございました。</p>
<p>子どもたちはパラリンピックキャラバンがあるまでは、「障がい者はかわいそう」という見方でした。しかし今回のキャラバンによって、障がいを持つ方への見方が180度変わったと作文を読んでみて伝わりました。障がいをもつ方、障がいスポーツの工夫の大切さは今を生きる子どもたちにお伝わり、学校生活につなげてくれると信じています。</p>
<p>子どもたちは大きな感動を前向きに生きていく心と挑戦していく勇気をもらい、大変喜び元気になりました。ありがとうございます。遅くなりましたが、子どもたちの感想文の一部を送ります。</p>
<p>生徒達の反応がとても良かったように思います。お話を下さる時やプレイを見ているときの目の輝きが普段とは全く違いました。子ども達の感想を読んでも前向きにみなさんのパワーをいただけたことがよくわかりました。今回はありがとうございました。</p>
<p>本校出身者2名を含む講師を迎え、難しいけれど楽しかった車イスバスケットでした。「共に生きる」を車イスバスケットから教えていただきました。ありがとうございました。 「できないことを数えるよりできることを数えよう」という力強いメッセージを5年生が心に刻みました。</p>
<p>感想文を読んでいただいてもわかると思いますが、生徒は本当に楽しく「勉強」できたと思います。ありがとうございました。</p>
<p>講師の方々のお話がたいへんすばらしく、子どもたちの心にもひびいたと思います。ぜひ毎年この福祉体験をやっていただきたいと思います。</p>
<p>スポーツについてもしっかりと学ぶことができ、生き方についても学ぶことができ、とても良い体験となりました。ありがとうございました。時間があればより多くの子ども達に車イス体験をさせてあげたいと思いました。</p>
<p>充実した2時間でした、これまでの体験学習とちがいで、障がいを持つ方と直接交流し、言葉を交わすことができたことは、大きな意味があったと思います。大切な事も明確に伝えてくださり、子どもたちの心に残る(納得できる)学習になりました。ありがとうございました。</p>
<p>今回で2回目になりますが、毎回大変貴重な体験や話が聞けてとても児童にとって勉強になる時間になります。内容は多少ちがいますが、ベースとなっている考えや主張は変わらず、児童にしっかり伝わっていると思います。ありがとうございました。</p>

障がい者スポーツ普及啓発事業 アンケート<JKA 競輪公益資金補助事業用>

全ての質問のあてはまる番号に○を付けてください。

《体験講座について》

1. 時間配分について
良かった・普通・悪かった(理由:)
2. 講演内容について
良かった・普通・悪かった(理由:)
3. 司会進行について
良かった・普通・悪かった(理由:)
- 9 4. 質疑応答について
良かった・普通・悪かった(理由:)
5. 当日の打ち合わせについて
良かった・普通・悪かった(理由:)
6. またやりたいですか?
またやりたい・機会があればやりたい・もうやりたくない
(理由::)

《事前準備・資料について》

7. 送付資料の内容について
分かりやすい・普通・分かりづらかった(理由:)
8. 送付時期について
早い・丁度良い・遅い(理由:)
9. 今回の事業に JKA の補助金が使われていたことはご存じでしたか
はい いいえ

今後の要望や感想、ご意見をお聞かせ下さい。

--

学校名をご記入下さい。	
-------------	--

ご協力ありがとうございました。



5年2組 ()

私がパラリンピックキャラバン体験講座で学んだことは、「できないことを教えるよりできることを教える」、「できないとあきらめないで、何かを工夫してできるようにする」ことです。最後に、中山さんのお話で、「できないことを教えるよりできることを教える」という言葉を聞きました。そこで、私は、自分を振り返ってみて、いつも、できないことを教えているなと思いました。この言葉を使うと、前向きになれるかなと思いました。この言葉でパラリンピックと自分がかかわれると感じました。「できないとあきらめないで、何かを工夫してできるようにする」は、全体を通して学びました。どの先生方も、言っておられました。例えば、「足が不自由だからバスケができない」を「車いすに乗ったらできるんじゃないか」と考えることです。工夫すれば、足が不自由でも、目が見えなくても、できることはたくさんあると思いました。この体験で学んだ2つの言葉をわすれないように、前向きに、ポジティブにしていこうと思います。



10月20日(月)6・7限 パラリンピック・キャラバン交流会について

体育館での交流会についての感想

初日のあいさつで、まず、すばい明るい人たちばかりだと
びっくりしてしまいました。足が不自由であることを受付とわ、
っから気持ちも乗り越えてきたんだなと感じました。
足が不自由であるも、スポーツができて、あんなにかっこいい
ことができるんだなと、何でもやってみないと分からない
ものだと改めて思いました。

今日の交流会は本当に貴重な時間でした。
また、感じるものもいっぱいあって、自分も色々なものに
積極的にチャレンジしていこうと思いました。

クラスごとの交流会についての感想

大きな夢をもっていて、本当にかっこいいと思いました。
自分のやりたいことをして、夢をもつことが本当に良い
ことだと改めて感じました。

次のパラリンピックで名前が出てくるかが、おどく
楽しみです!! めっちゃ応援したいです!!(汗)

パラリンピックキャラバン交流会 感想

新上五島町立魚目中学校 2年 氏名

先日は私たちのためにパラリンピックキャラバン交流会を開いて
くださり、ありがとうございました。私は今まで「パラリンピックは
障がい者のオリンピックだ」ということは知っていたけど、どうい
うものか、何のためにあるのかは分かりませんでした。今回は実際に車
イスバスケットボールが体験できるということでとても楽しみでした。
最初に車イスバスケットボールを見たときは、思っていたより速くてび
くりしました。実際に自分が体験したときは、ホールの場所
に行くので「精一杯でシュートを決めるのはとても難しかったです。でも
講師の方たちは、ほとんどの確率で決めていたのですごいなあ
と思いました。講師の方は障がいがある、普通の人よりハンディ
があるのに、バリバリ動いていて、努力しているんだろうなあと思
いました。この交流会で、パラリンピックは、できないことを見つける
のではなく、できることを見つけるためにあること、何でも、チャレ
ンジすることの大切さを学ぶことができました。今回学んだことを
これから生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

パラリンピックキャラバン交流会 感想
新上五島町立魚目中学校 3年 氏名

私は、この交流会を楽しみにしていました。

体育館に入って、そしたら、バスケットボールをする用の車イスに

乗って、スゴイスピードで走るかずさん、遠くからシュートを

スポット決めるたかさん、ゴール近くからボードめがけてボール

なげてシュートするくまちゃんを見て、うわぁ すごい! ^{wow} からこいい

と思いました。ゲームでは、たかさんくまちゃんにパスをもらって

シュートしようとしたけど全く、うでのめがけたり、声を出したりしても

ゴールの戸のネットにサウッと当たるといって、くまちゃんや、かずさん

たかさんは、うでの力がすごいんだなぁと思いました。こいでドリブル

こいでドリブル、でもタイヤの戸を手でまわすのは2回だけ、

とってもむずかしい!!と思いました。それを、10人対かずさんをいた時、

かずさんには、こいでドリブルと、敵があつたら、少し前はボールをとびして、

すばやくこいで それをとってまわすのシュートが、とってもむずかかったです。私にとって

とっても、いいけいけんになりました。「できないことをかぞえるんじゃなくて、できる

ことをかぞえる」くまちゃん言ったことを今の学校生活にいかしていきたいです。

10 事業全体における評価・まとめ

障がい者アスリートと出会うことは、成功者と出会うことであり、どうすれば成功出来るのかは子ども達の関心事の一つでした。失敗と成功を繰り返し不可能に見えることを可能にした人達との出会い、また、パラリンピックの真の意味である『出来ないことを数えるよりも出来ることを数える』を選手達から直接聞くことは、将来に希望を持つこと、他と協力すること、自己肯定感に繋がる大切な事業になったと思います。

事業内容の個別評価

事業は100分～120分の枠内で収まるように組まれています。学校の授業時間に合わせることで出来、細かくプログラムを分けていることで、受益者が傍観者として『見ていただけ』にならない工夫を随所にちりばめていることも高い評価を得ていたと思われます。

事業の実施結果のアンケートによると、当初の計画目標25ヶ所、3000人に対し、結果は25ヶ所3260人の参加がありました。また、内容については25校中24校が良かったと回答していました。

事業継続の必要性

『対話型で体験型の講演』となっています。これは私たちの独自のスタイルであり、パラリンピックの真の意味、パラリンピックムーブメントに特化した事業を行っているのは、他にない当法人の特色でもあります。日本がダイバーシティをフルに生かされる社会にするには、1人1人が多様性を認め、違いを認識し補完しあう環境を整える必要があります。

当事業を継続して受けることで子ども達の逆境に負けない『生きる力』を育てることに繋がるため、より多くの学校や地域で行うと同時に、継続して複数回数受けられる仕組みとすることが望ましいと思います。

事業の発展性

2014年度は、都道府県の教育委員会等と連携し参加校を募集しました。今まで事業の出来なかった場所での事業が可能となり、事業のすそ野を広げることになりました。教育委員会や各競技団体と連携が取れたことにより効率的かつ発展性に繋がりました。

より複雑で多様になっていく現代社会において、このような授業はますます子ども達の生きる力を涵養するためにも重要だと考えています。

<事務局>

生徒たちは、積極的に参加する姿勢があり、質問も良く出ていました。

「パラリンピックの本当に意味」＝「出来ないことより出来ることを数える」に深くうなずいている生徒が多く、自分たちの日々の生活と照らし合わせているようでした。

講師からはそれぞれ障がいを持った経緯や日常生活、車いすについての話をし、生徒たちから「お風呂に入る時はどうやって入るのですか?」や「車いすでの生活は不自由ではないですか?」「彼女はいますか?」等の質問をしていました。

講師もそれぞれ質問に笑顔で、「お風呂にはこうやって入るんだよ」、「彼女募集中!」と明るく答えていました。それぞれの講師との交流から子どもたちは、障がいというものを身近に感じ、チャレンジすれば何でも出来るという事に気づき、後日、アスリートに宛てた感想文にその思いを描いていました。

車椅子バスケットボールの競技の体験では、生徒たちだけでなく先生たちも参加し、講師たちと対抗戦を行ったり、先生たちも楽しんで参加していました。いくつかの学校では、父母の方々も体育館の後方で熱心に参観されていました。

今回の競輪補助事業により、遠方や公演料等の理由で実施したくても出来ない学校が実施可能になり、多くの子どもたちの笑顔に会うことが出来ました。2020年のパラリンピックに向け、多くの子どもたちが障がい者スポーツに触れ、笑顔で幸せに暮らせる一助となるよう、今後もこの事業を推進していきたい。